

令和4年度（2022年度）

熊本市献血推進協議会

日 時 令和4年（2022年）12月8日（木）14時30分～

場 所 熊本市役所本庁舎 7階会議室

目 次

- I 令和3年度（2021年度）献血推進事業報告
- II 令和4年度（2022年度）献血推進事業計画

《資料》

- 1 献血の実施等について
 - (1) 熊本市の献血量及び献血者数の推移
 - (2) 熊本市の年代別献血者数の推移
- 2 熊本健康アプリ献血ポイント付与の実績の推移
- 3 各団体の近年の献血推進活動状況（概要）

I 令和3年度（2021年度）献血推進事業報告

1 熊本市献血推進協議会

開催日時：令和3年10月21日（木）14時～

場所：ウェルパルクまもと 3階会議室

出席者：委員7名・熊本県赤十字血液センター関係者・熊本市保健所
医療政策課職員

議事録は熊本市ホームページに掲載

2 普及啓発

(1) 校区・地区献血の推進

・町内自治会等を通じて、校区・地区献血のポスター掲示及び各家庭へチラシ回覧を依頼。令和3年度は10校区、5地区で20回実施。

・熊本市ホームページに献血啓発記事の掲載。

(2) 一般市民への普及啓発

市政だより（令和4年1月号）

市政だより（令和3年10月号）

献血にご協力を

期県赤十字血液センターホームページへ 日赤プラザ献血ルーム（東区長嶺南2丁目1-1・☎384-6727）、下通り献血ルームCOCOSA（下通NSビル5階・☎325-9218） 冬は献血者数が減り血液が不足する季節です。血液製剤には有効期限が採血後4日間と非常に短いものもあり、常に多くの方々からの献血が必要です。ご協力をお願いします

（医療政策課 ☎364-3186）

骨髄バンク登録について

日本では、子どもから高齢者まで幅広い年代で、毎年およそ1万人が新たに白血病や再生不良性貧血などの病気を発症しており、そのうち骨髄移植を必要とする患者さんは、少なくとも2千人程度います。

こうした血液の病気を根本的に治療する有効な方法が、患者さんの骨髄を、健康な人（ドナー）から提供された骨髄に置き換える「骨髄移植」です。骨髄移植を行うためには、患者と骨髄を提供するドナーの白血球の型（HLA型）が適合する必要がありますが、適合する確率は非常に低いと言われます。1人でも多くの患者さんを救うために、骨髄バンクへのドナー登録をお願いします。詳しくは、電話またはホームページで熊本県赤十字血液センター（☎384-6723）へ。

（医療政策課 ☎364-3186）

市政だより（令和3年4月号）

市政だより（令和3年11月号）

臓器提供について 考えてみませんか

臓器移植は、皆さん1人ひとりの善意による臓器の提供がなければ成り立たない医療です。

日本で臓器移植を希望して待機している方およそ14,000人に対して、実際に移植を受けることができるのは年間およそ400人です。

臓器移植をすすめるには、まず皆さんの臓器提供の意思確認が重要です。運転免許証や保険証、マイナンバーカードの裏に臓器提供の意思表示欄がありますので、記入をお願いします。また、法律では、本人の意思が不明な場合でも家族の承諾があれば臓器提供が可能になっています。日頃から臓器提供について家族で話し合い、意思を伝え合っておきましょう。

詳しくは、市ホームページへ。

(医療政策課 ☎364-3186)

臓器移植について

日本での臓器移植希望者約14,000人に対し、実際に移植を受けることができるのは年間およそ400人です。現在は、本人の臓器提供の意思が不明な場合でも、家族の承諾があれば臓器提供ができます。日頃から臓器提供について家族で話し合い、意思を伝え合っておくことが大切です。臓器提供意思表示カードは、市の施設や医療施設などに置いてあります。運転免許証や健康保険証、マイナンバーカードの裏にも臓器提供意思表示欄がありますので、記入をお願いします。

(医療政策課 ☎364-3186)

・FM 熊本ラジオ放送「フレッシュ・フラッシュ熊本」

	放送日	内容
1	令和3年 4月27日(火)	献血のお願い
2	令和3年 7月13日(火)	献血のお願い
3	令和3年 8月17日(火)	臓器移植について
4	令和3年10月26日(火)	骨髄バンク登録について
5	令和3年12月28日(火)	献血のお願い

・普及啓発キャンペーン時のポスター等を市関係施設（熊本市役所本庁舎・各区役所・まちづくりセンター等）へ配布

キャンペーン内容	実施内容	キャンペーン期間
令和3年度「愛の血液助け合い運動」	ポスター掲示	令和3年7月1日 ～7月31日
令和4年「はたちの献血キャンペーン」	ポスター掲示	令和4年1月1日 ～2月28日



(3) 高校生への普及啓発

例年、献血者数が減少傾向にある若年層への献血意識向上のため、市内高等学校へ献血セミナーの実施や保健体育授業内での啓発と高校献血を血液センターと連携して働きかけていたが、令和3年度は昨年度に続き新型コロナウイルス感染拡大の影響で未実施。

○近年の実績：令和元年度2校、平成30年度2校、平成29年度3校

(4) その他普及啓発

スマートフォン専用アプリ「熊本健康アプリ もっと健康!げんき!アップくまもと」と連携し、普及啓発を後押し。令和3年度は献血1回につき40ポイント付与される健康ポイントの上限回数が「年1回」から「年3回」に増加。アプリ登録者数が増えていることもあって、献血による健康ポイント付与件数も増えており普及啓発ツールとして今後も活用。アプリの登録者数や献血ポイント付与件数の推移は、別表3のとおり。

(5) 各団体の近年の献血推進活動状況(概要)

各団体の近年の献血推進活動状況の概要は、別表4のとおり。

II 令和4年度（2022年度）献血推進事業計画

1 熊本市献血推進協議会

日時：令和4年（2022年）12月8日（木）14時30分～

場所：熊本市役所本庁舎 7階会議室

2 普及啓発

（1）校区・地区献血の推進

- ・町内自治会等を通じて、校区・地区献血のポスター掲示及び各家庭へチラシ回覧を依頼。令和4年度は13校区、3地区で20回計画。
- ・熊本市ホームページに献血啓発記事の掲載。

（2）一般市民への普及啓発

- ・市政だよりへ啓発記事の掲載。
- ・ラジオ広報として、FM 熊本ラジオ放送「フレッシュ・フラッシュ熊本」にて献血協力依頼などの内容を放送。
- ・市職員専用電子掲示板へ、献血協力依頼や啓発等の内容掲示。
- ・普及啓発キャンペーンのポスターや冊子等を、市関係部署や区役所、まちづくりセンター等の施設へ設置。
- ・新たな情報発信手法（SNS など）の検討

（3）高校生への普及啓発

- ・献血者数が減少傾向にある若年層への献血意識向上のため、市内高等学校へ献血セミナーの実施や保健体育授業内での啓発と高校献血を血液センターと連携して実施。

（4）その他の普及啓発

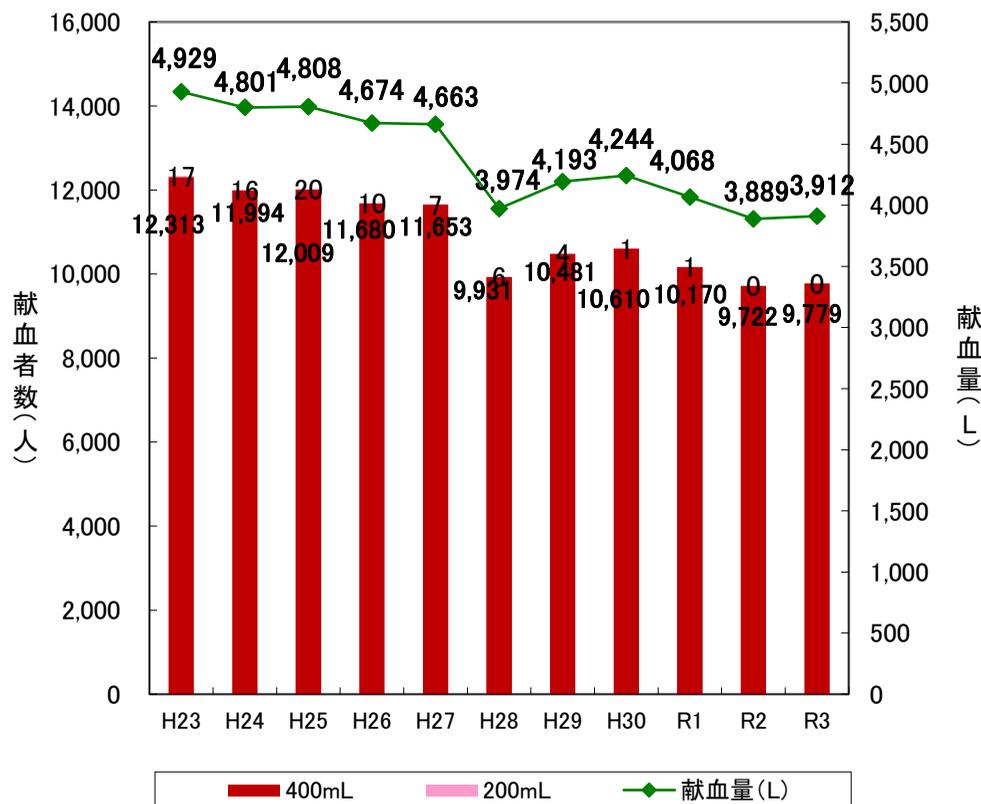
- ・引き続き、スマートフォン専用アプリ「熊本健康アプリ もっと健康！げんき！アップくまもと」と連携し、普及啓発を後押し。

1(1)熊本市の献血量及び献血者数の推移

(移動採血車による献血のみ)

(別表1)

年度	目標数(人)	献血者数			目標に対する割合	献血量(L)
		400mL	200mL			
H23	14,752	12,313	17	83.5%	4,929	
H24	14,875	11,994	16	80.6%	4,801	
H25	14,896	12,009	20	80.6%	4,808	
H26	14,677	11,680	10	79.6%	4,674	
H27	14,308	11,653	7	81.4%	4,663	
H28	13,442	9,931	6	73.9%	3,974	
H29	12,484	10,481	4	84.0%	4,193	
H30	12,094	10,610	1	87.7%	4,244	
R1	11,810	10,170	1	86.1%	4,068	
R2	12,005	9,722	0	81.0%	3,889	
R3	12,584	9,779	0	77.7%	3,912	



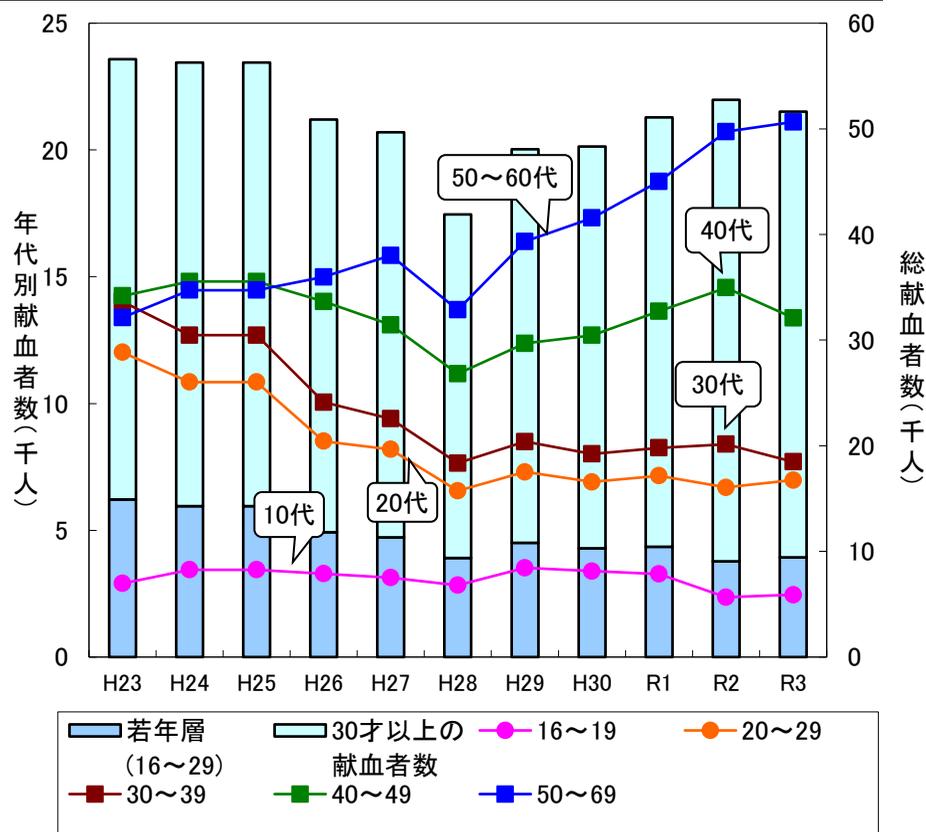
令和3年度の目標献血者数は、12,584人であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、移動採血車による校区献血や地区献血等の中止が令和2年度から続いて多数発生したため、目標達成とはならなかった。しかし、そのような状況においても、献血者数(献血量)としては大きく減少していることはなく、また令和3年度は微増しており、各団体の活動の成果が表れている。

1(2)熊本市の年代別献血者数の推移

(別表2)

(200mL献血・400mL献血・成分献血、移動採血車・固定ルームすべて含む)

年齢区分	16～19才	20～29才	30～39才	40～49才	50～69才	合計 (総献血者数)
H23	3,168	11,436	13,560	14,646	14,093	56,903
H24	3,446	10,846	12,693	14,812	14,471	56,268
H25	3,885	10,316	11,005	13,689	13,426	52,321
H26	3,287	8,517	10,051	14,021	14,991	50,867
H27	3,130	8,193	9,400	13,099	15,841	49,663
H28	2,835	6,557	7,650	11,172	13,693	41,907
H29	3,519	7,304	8,494	12,373	16,388	48,078
H30	3,392	6,909	8,011	12,691	17,319	48,322
R1	3,278	7,153	8,250	13,640	18,764	51,085
R2	2,360	6,689	8,398	14,566	20,725	52,738
R3	2,458	6,981	7,700	13,379	21,105	51,623



令和3年度の成分献血を含む総献血者数は、コロナ禍で前年度より微減しているものの同程度であり、各団体等の活動の成果が表れている。今後も、継続的な献血者確保のため、若年層への献血意識向上などの啓発活動を実施していくことで、更なる結果が得られると期待される。また、30代の献血者数の回復も必要である。

2 熊本健康アプリげんきアップくまもとの献血ポイント付与等の実績の推移(R4.9.30現在)

熊本健康アプリはR2.7.1から開始。データは熊本市民分のみ。

(別表3)

年度	3か月毎に集計			年度毎に集計		
	登録者数(人)	献血ポイント付与人数	献血ポイント付与件数	献血ポイント付与人数	献血ポイント付与件数	
R2						上限:年1回まで (1回付与/人) (3月のみ休止) 計8か月間
	9月末	25,247	225	225		
	12月末	28,986	131	131		
	3月末	30,597	84	84	440 440	
R3	6月末	33,470	272	396		上限:年3回まで (1~3回付与/人) 計12か月間
	9月末	38,289	160	319		
	12月末	40,292	92	207		
	3月末	42,653	184	312	708 1,234	
R4	6月末	44,239	192	390		上限:年3回まで (1~3回付与/人)
	9月末	45,799	128	277		
	12月末					
	3月末				320 667	

令和3年度末現在の献血ポイント付与件数は、熊本健康アプリの普及が進み登録者数が順調に増えたこと、及び、一人に対する献血ポイントの付与が年1回から年3回まで増えたことから、対象期間(R2は8か月間、R3は12か月間)を考慮して前年度の約1.9倍となっている。健康づくりを楽しみながら献血にもご協力いただけていることが数字に表れている。

3 各団体の近年の献血推進活動状況(概要)

近年の主な活動状況を記載。新型コロナ前に行っていたもの、急遽中止等になったものも記載。(別表4)

団体名	献血推進活動状況
熊本市医師会	<ul style="list-style-type: none"> 熊本市民健康フェスティバルとタイアップし、移動採血車による献血活動を実施。(令和2、3年度は新型コロナの影響で健康フェスティバル自体が中止。) 各医療機関に対し献血会場としての場所の提供や人的サポートに協力するよう働きかけ。 市医師会・ヘルスケアセンター等会員に対し献血協力の呼びかけ・周知を実施。 市医師会(会館)は本荘校区の献血の会場として提供するなど協力。
熊本商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> 会員に対し献血を広報(会報誌・ホームページ等)し、企業献血の実施や、献血会場としての場所の提供や人的サポートに協力するよう呼びかけ。(新型コロナの影響で、店舗を開けないなど企業活動が制限され、献血活動には苦勞している。)
熊本キャスルライオンズクラブ	<ul style="list-style-type: none"> 移動採血車が出向いたそれぞれの会場と連携し、献血呼びかけ活動などを実施。 ミスオブサイヤーとタイアップし、下通り献血ルーム前で出場者と献血呼びかけ活動を実施。 高校献血に力を入れており、継続的に依頼活動を実施。 ライオンズクラブ主催の献血活動を実施。 若年層を対象にした久留米の血液センターの見学会を開催。
熊本市地域献血推進連合協議会	<ul style="list-style-type: none"> 絵柄を若年層向けにした協議会オリジナルクリアファイルを4種作成し校区献血協力者に配布。また、これを下通り献血ルームでも臨時配布し、啓発にも努めている。 校区献血を多くの校区(22校区・地区)で継続的に実施。(新型コロナの影響でこの数年はやむなく中止となっている校区(5校区程度)もある。) 地域献血活動の積極的な推進を図るため、多大な実績のあった校区・地区を表彰。
熊本市地域婦人会連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> 毎週月曜、下通り献血ルーム前で献血呼びかけ活動と協力者にみそ汁の提供を実施。 子ども向け教育パネルを作成し、幼稚園児や小学生向けに啓発活動を実施。 血液センターの献血ルームで渡すプレゼント作りへの協力。
熊本市社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> 熊本市地域献血推進連合協議会への助成金の継続的支援。 地域の福祉事業をサポートしており、社会福祉協議会関連施設での献血推進ポスターの掲示、啓発冊子の設置。
熊本県学生献血推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナの影響を受け、全国学生クリスマス献血キャンペーンは規模を縮小して実施。例年であれば、愛の献血助け合い運動、はたちの献血活動も実施。 大学内で移動採血車による学内献血を、学生が主催して各大学でそれぞれ実施。 献血に関する知識の向上や啓発の重要性について理解を深める研修会を実施。 献血ルームでの作業補助を研修も兼ねて体験。 各大学で学生向け献血に関するセミナーを開催。